



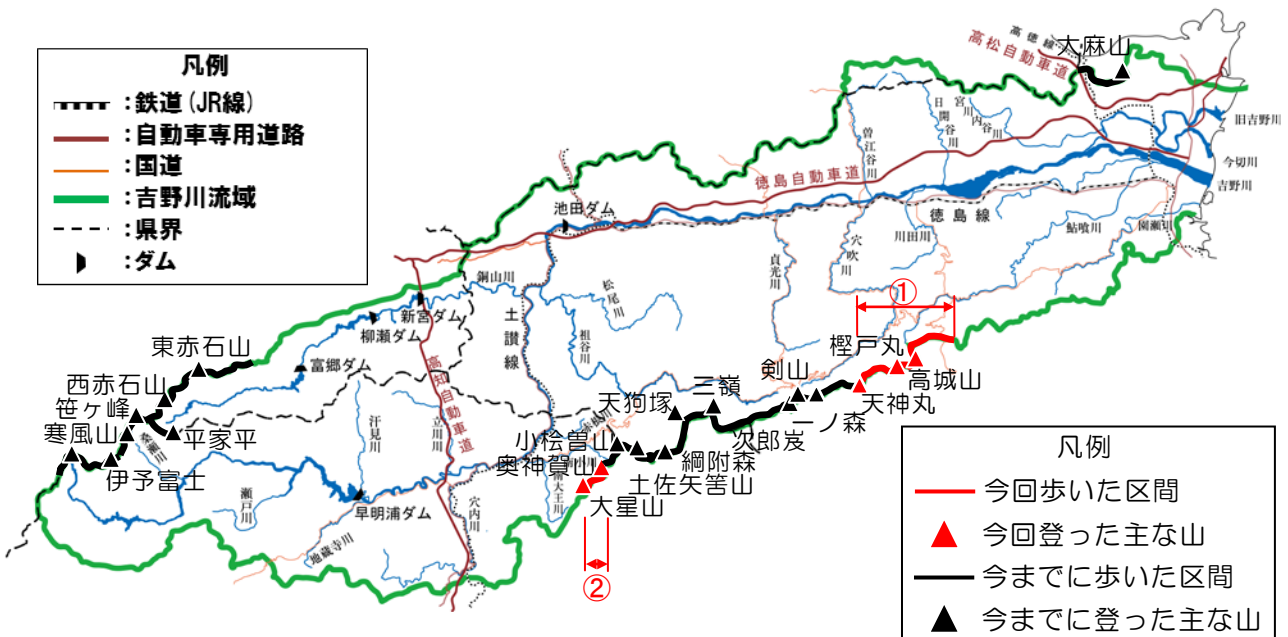
こんにちは。山登り好きの「岳」です。  
山好きな私が吉野川の分水嶺を歩きながら、読者の皆様に吉野川流域の山々の素晴らしさと現状を紹介したいと思います。

第6回は、剣山スーパー林道沿いの天神丸から高城山を經由して土須峠(流域図参照①)、南小川流域の奥神賀山から大星山(流域図参照②)までを紹介します。

今年の紅葉の季節の10月は週末の度に台風が来襲し、山に行くことが出来ず、残念ながら紅葉の見頃が過ぎてしまい、綺麗な紅葉を紹介出来ませんでした。冬山の季節がやってきました。これからは、冬山の素晴らしさを紹介します。



天神丸山頂



11月12日曇りのち晴れ、剣山スーパー林道の天神丸登山口からまずは天神丸山頂に向かいました。

山頂に近づいてくると樹木に霧氷が着いて、素晴らしい景色が待っていました。はじめは、雲が出ていましたが、そのうち青空になり、何とも言えない霧氷の素晴らしい景色になりました。

この日は、絶好の霧氷日和だったみたいで、天神丸登山口の途中の高城山登山口では、高城山の霧氷を見るために、日が明ける前から大勢の登山者が来ていました。

登山道の途中では霧氷のトンネルがあったり、霧氷のスポットの高城山や樫戸丸にも霧氷が着いており素晴らしい景色が広がっていました。

樫戸丸山頂について時には、昼前になっていましたが、僅かに霧氷が残っており、西側には剣山や一ノ森まで綺麗に見渡せ、東側には、高城山雨量レーダーが目印の高城山が綺麗に見られました。

樫戸丸の東側の麓にある風の丘は、車やバイクの休憩所にもなっていて、キャンプをする方などもいます。



木に着いた霧氷



霧氷のトンネル



僅かに霧氷のかかった高城山と樫戸丸



樫戸丸から見た剣山と一ノ森



樫戸丸から見た高城山



風の丘

高城山の山頂東側にそびえ立つ高城山雨量レーダーは、地上7階建ての建物で平成11年に国土交通省(当時は建設省)により、設置されたものです。

この雨量レーダーで観測された降雨状況は、近年増加する集中豪雨や局地的な大雨による水害や土砂災害等に対して、適切な避難行動などの防災活動などに利用されています。

高城山の東側の剣山スーパー林道沿いにある「ファガスの森高城」では、名物鹿カレーや山菜うどんの食事やお土産が買うことができ、コテージでの宿泊も出来ます。剣山スーパー林道に行った際には、一度立ち寄ってはどうか？

剣山のスーパー林道沿いに、「徳島のヘソ」があります。そこからは、夜になるとなんと吉野川沿いの夜景が見ることが出来ます。是非一度夜景を見に来てください。(少し遠いですが。。。)



高城山にそびえ立つ高城山雨量レーダー



高城山雨量レーダーと南尾根



ファガスの森



国道193号雲早隧道上の尾根から見た雲早山



徳島のヘソ (看板横の原付バイクは下山口から登山口への移動用)



徳島のヘソから見た吉野川沿いの夜景

11月4日生憎の曇り、小曾根林道の豊永峠から奥神賀山を經由して、大星山に行ってきました。

まずは、豊永峠から奥神賀山に向かいました。山頂からは、東側に土佐矢筈山が見え、西側には大星山へ繋がる山々が綺麗に見えました。

奥神賀山から大星山への登山道は、登山者も少なく、先日の台風で登山道は倒木で塞がれたり、登山道がササで覆われ、ササを避けながら進むのは耐力を消耗するので、ササのトンネルを潜るなど、登山にはあまりおすすめが出来ませんが、大星山付近には素晴らしいブナ林があります。

また、この辺りも鹿の食害により、ササが無くなっていました。



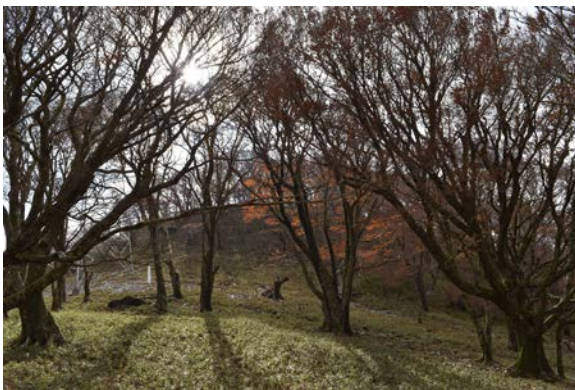
土佐矢筈山

奥神賀山から見た土佐矢筈山



大星山方面

奥神賀山から見た大星山方面



大星山付近のブナ林



大星山山頂



倒木で塞がれた登山道



ササで覆われた登山道を潜っていく



鹿の食害によりササがなくなった状態

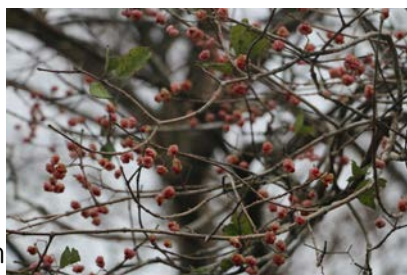
◇今回歩いた距離 42.3km

◇今回歩いた分水嶺の距離  
20.2km

今まで歩いた距離

96.5km / 全長約 402km

◇分水嶺制覇まで、残り約 306km



名前もかわいいマユミ(木)の実



コハウチワカエデ